



下田市都市計画マスタープランを改訂しました

問合せ先 建設課都市住宅係 ☎22219

目指す都市の将来の姿

本市では、平成28年3月に「下田市都市計画マスタープラン」の改訂を行いました。前号では、「都市計画マスタープランとは?」、「マスタープラン改訂の目的は?」、「都市づくりに向けた基本的な考え方」についてお伝えしました。今回は、引き続き改訂の概要について説明します。

下田市の目指す将来の都市構造は、各地域の特性を踏まえた土地利用を進めるため、人々が集い、活動する場所の中心となる都市拠点として、下田中心市街地、武方浜臨海部を位置づけています。核となる集落を地域拠点、

自然環境が豊かな地域を特出すべき自然環境拠点として、位置づけ、各拠点の個性を引き出す都市づくりを目指しています。また、伊豆縦貫自動車道をはじめとする道路網や海上交通の機能を充実することにより、拠点間、拠点と自然環境・農業地、拠点と他都市との有機的な結びつきを強め、下田市の持つ特徴を最大限に生かした多極ネットワーク型コンパクトシティを形成します。

- ・緩斜面や丘陵地の果樹園
- ⑤海岸線・背後緑地 富士箱根伊豆国立公園を中心とする海岸線と背後の緑の緑地)
- ⑦森林・丘陵地 稲梓、稲生沢、白浜地区の一角に広がる森林や須崎、田牛地区等に広がる丘陵地的緑地)
- ⑧山間部 森林

むための環境整備を進める。下田港周辺 自然環境と都市、港湾が調和する場所として交流機能を充実する。大規模集落 (白浜地区、吉佐美地区) 美しい海がある地域の生活拠点としての機能充実を図る。既存集落地・住宅団地 (外浦、須崎、田牛) 周辺環境との調和を踏まえ、住環境の維持・向上を図る。

分野別都市づくりの方針

- ①中心市街地 市民文化会館周辺、伊豆急下田駅周辺、武方浜
- ②周辺市街地 蓮台寺、柿崎、六丁目周辺の市街地
- ③集落居住地 大規模集落 吉佐美、白浜、大賀茂、箕作周辺の比較的大規模な集落 主な集落地 外浦、須崎、田牛、大沢、須原、加増野
- ④農業地 集团的農地 稲梓地区及び朝日地区

- ①市街地 住宅と商業が共存する中心市街地として、都市機能の充実を図る。
- ②沿岸部 海岸 富士箱根伊豆国立公園を中心とする海岸線の景観を保全するとともに、砂浜当については、レジャーを楽しむ。
- ③山間部 森林 森林の持つ諸機能の維持向上を目指し、良好な森林を保全するとともに、適正な管理・活用による森林環境の創出を図る。
- ・河川 市民や来訪者が憩える、河川景観や水辺空間を創出する。
- ・農地 一団性のある農地については、優良農地として保全する。
- ・大規模集落 (大賀茂地区、箕作地区) 美しい里山がある地域の生活拠点としての機能充実を図る。
- ・既存集落地・住宅団地 (大沢、落合、北湯ヶ野、横

・農地 一団性のある農地については、優良農地として保全する。
- ・大規模集落 (大賀茂地区、箕作地区) 美しい里山がある地域の生活拠点としての機能充実を図る。
- ・既存集落地・住宅団地 (大沢、落合、北湯ヶ野、横

川、加増野、須原

周辺環境(農地等)との調和を踏まえ、住環境の維持・向上を図る。

- ④インター周辺 保全活用エリア 伊豆縦貫自動車道のインターチェンジ周辺は、地域の状況を踏まえて、利便性を活用した土地利用や環境の保全を図る。

「道路や公共交通機関」に関する方針



中島橋交差点

- ・交通を円滑に処理する道路網を整えよう。
- ・自家用車だけに頼らない交通体系をつくろう。
- ・地域特性を踏まえた生活道路にしよう。
- ・歩いて乗って周遊できるネットワークを形成しよう。

「災害への備え・災害に負けないまちづくり」に関する方針

- 災害に負けない まちをつくろう
 - ・都市整備等による災害に負けないまちづくりを進める
 - ・減災対策を推進し、市民生活の安全性を高める。
 - ・建物が密集した市街地内の防災機能を強化する。
 - ・市民の協力による防災体制を強化する。
 - ・復興のまちづくり計画を想定する。
- 災害で一人も犠牲者を 出さないまちをつくろう
 - ・震災時の津波警報に対応した避難方向を確保する。
 - ・早期に避難ができるよう、警報等の確かな発信を行う。
 - ・来訪者も安心して避難できる体制づくりに取り組む。
 - 災害に遭っても、すぐに復旧・復興に取り組める体制をつくろう
 - ・災害復旧のための道路を確保する。
 - ・インフラの復旧・復興に迅速に取り組む。
 - ・日常生活ができる生活環境を確保する。

・地域で相互に助け合えるようコミュニケーションを充実する。

- ・災害復興に向けた事前災害復興まちづくり計画を策定する。
- ・復旧・復興事業を推進する。
- ・市全体の防災性を高める。

「街の眺めづくり」に関する方針



須崎港の風景

- 地域資源に配慮した まちなみをつくろう
 - ・下田ならではの豊かで美しい自然環境を大切にしよう
 - ・豊かな自然景観を後世に残す。景観を楽しむことができる空間をつくる。
- 自然環境を大切にしよう
 - ・豊かな自然景観を後世に残す。景観を楽しむことができる空間をつくる。
- 地域資源に配慮した まちなみをつくろう
 - ・地域をイメージできる景観を景観計画に即してつくる。
 - ・もてなしを感じる景観を演

・自然と調和した景観をつくる。

- ・歴史を感じる景観をつくる。
- ・祭りを守る。

「市民・事業者・行政の連携、協力」に関する方針

- 計画策定・規制誘導
 - ・協働により計画策定を行う。
 - ・市民・事業者一体となって、規制誘導を行う。
- 事業実施
 - ・協働により事業に取り組む。
 - ・民間活力の導入により下田市の活力向上を行う。
- 維持管理・活用
 - ・適切な維持管理を行うとともに、積極的に活用を行う。
- 心意気
 - ・下田に関わる人・下田にある物を大切にする。



蓮台寺の枝垂れ桃

○各種機能を配置して住民や来訪者が満足するまちをつくろう

○下田港周辺の資源を活かし、にぎわいを生みまちなみをつくろう

次回は、各地区の地域別構想についてご説明します。市ホームページでは、下田市都市計画マスタープラン概要版を閲覧可能です。